

令和6年度事業報告

松阪市シルバー人材センターは、シニアが健康で、意欲を持ち、その蓄積した経験や技術を活かして地域社会の支え手となることにより、地域から“信頼され魅力ある”センターを目指して事業を進めています。

令和6年度は、下記8点を重点として取り組んできました。

1. 安全就業の推進
2. 就業開拓と会員拡大
3. 中期視野に立った財政・事務局運営
4. 派遣事業の推進
5. 事業・適正就業の推進
6. 福祉・子育て支援事業の推進
7. シルバー事業の普及啓発&デジタル推進
8. 補助事業の推進



1. 安全就業の推進

令和6年度も「安全はすべてに優先する」を基本に活動を展開しました。

会員の皆さまの安全就業に対しご協力をいただきましたこと、心から感謝を申し上げます。しかしながら、除草作業時の刈払機による飛石物損事故は未だ発生しており、昨年の5件に対して、本年度は11件の事故が発生しております。原因は、厳守ルールであるネット・ツインブレードの未使用であることに加えて、なぜルールを守れないか、その真の要因へ深堀が出来ていなかったこと自体も要因のひとつとして反省をしております。引き続き安全委員会や安全パトロールを通じ、現場環境と実使用機器類との関連も見極めながら、確実な対策を講じて行きます。

また、健康づくりや交通安全に対する取り組みについては従来の「安全就業大会」に代えて個別の講座や研修受講を積極的に取り入れました。

特に、刈払機安全講習（林災防主催）や公用車運転に従事する会員・職員への安全運転講習受講などは、今後も継続的に取り組んでまいります。

【主な安全・健康イベント】

講習名（主催）	日 程	会 場	参加者数
刈払機安全講習（林災防）	6/21・10/4	「木の情報館」スマッキー	8名
刈払機新人講習（公共班長担当）	8/5	市営グラウンド	7名
高齢者ドライバードラレコ診断（市）	10/14・11/20	松和自動車学校	7名
草刈り体験 高齢者育成（厚労省）	11/22	広陽2号公園	9名
三シ連シルバー いきいきフェスタ	10/23	三重県総合文化センター	30名
パッカー車実施講習（センター）	11/7	松和自動車学校	1名
交通安全研修（市）	R7 1/17・22・30	津運転免許センター	10名

2. 就業開拓と会員拡大の取り組み

当センターにおいては、就業を前提に正会員登録となる仕組みを用いており、会員拡大は就業開拓・就業確保と密接に関係します。経営者様との交流、広報まつさか、夕刊三重などの媒体を通じた広報活動の成果も実ってきました。

令和6年度入会説明会参加者総数は214人（男性119人・女性95人）、年度末時点会員数は1,088人（男性588人 女性500人）となりました。

特筆すべきは、「松阪さんまくらぶ」の拡充に伴い支援会員数が増大したことです。

従来水準と比較すると約80人増（女性が主体）となります。

次年度に向けては、会員の蓄積されたキャリアをより発揮いただけるよう就業先の紹介、マッチング業務を充実させていきます。

【年度別入会説明会参加者、入会・退会者の推移】

	説明会参加者	入会者	退会者	年度末会員
令和1年度	206人	159人	144人	1,026人
令和2年度	187人	134人	172人	988人
令和3年度	196人	138人	141人	985人
令和4年度	204人	140人	113人	1,012人
令和5年度	240人	135人	99人	1,048人
令和6年度	214人	166人	126人	1,088人

3. 長期的視野に立った財政・事務局運営

令和6年度請負契約金額は5億11百万円（前年＋26百万円）、公共事業は36%、民間企業は49%、一般家庭は15%となっています。配分金は4億38百万円（前年＋25百万円）となりました。

昨年と比較すると増額にはなりますが、配分金単価の値上げを考えると受注件数自体に大きな変化はありません。また、財政を取り巻く中期的な課題は、インボイス制度（消費税の適格請求書等保存方式）への対応であり、シルバー事業に与える影響は非常に大きいものとなりました。本年度もセンター内での諸経費削減、業務効率Up等の対策を継続することによって資金確保に繋げ、インボイス財政安定化運営積立資産の活用と、消費税納税経過措置の動向へも注視し、全シ協レベルで検討が進んでいる発注者様との新たな契約方法も取り入れて、長期的視野に立ったシルバー事業のあり方について理事会で協議・検討を進めてまいります。

4. 派遣事業の推進

就業開拓を軸に、本年度も契約額1億円突破を実現

就業開拓活動と連動させ、松阪市、松阪商工会議所、ハローワークなどのご協力もいただき顧客開拓をすると共に、ホームページの活用、夕刊三重広告、市内各施設への広告パンフレットの設置、新たにサイネージ広告活用なども継続して積極的に行いました。これらの活動を継続的行ったことにより、シルバー派遣事業の認知度向上につながり、

派遣事業契約額は令和6年度も1億円を突破することが出来ました。

【令和6年度月別派遣事業実績表】

	派遣事業所数	就業実人員（人）	就業延日人員（人）	契約額（円）
4月	40	128	1,610	8,885,642
5月	40	125	1,672	9,692,702
6月	39	121	1,646	9,113,750
7月	38	116	1,603	9,009,531
8月	38	114	1,484	7,958,570
9月	38	122	1,493	8,136,794
10月	35	116	1,572	8,693,341
11月	37	116	1,468	8,277,369
12月	40	121	1,589	9,449,962
1月	42	130	1,615	9,431,444
2月	40	120	1,482	8,286,197
3月	42	132	1,599	8,665,645
合計	—	—	18,833	105,591,947

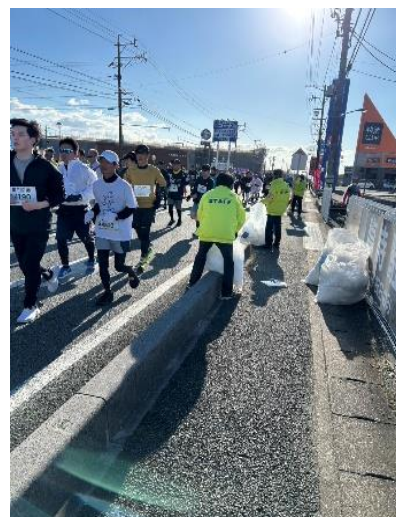
5. 普及啓発活動の推進について

“みえ松阪マラソン” シルバーボランティア106名が積極的に参加

シルバーボランティアの日として12月15日“みえ松阪マラソン”へ3回目の参加をしました。強風の中、会員の皆さんには厳寒の早朝からそれぞれの担当場所でご活躍をいただきました。

県内唯一のフルマラソン、総勢10,900名を超える参加者の裏方（大会を支える立場）として駐車場案内や歓迎あいさつ、ゴミ処理、トイレ案内などシルバーらしい対応は全国から参加いただいたランナーはもとより主催者からも高い評価と感謝のお言葉をいただきました。

また、本年度も“ビューティーアップ講座”は会員、会員知人への呼びかけもあり18名参加で開催、会員拡大と普及啓発にも繋がる企画となりました。（11月6日実施）



令和6年度のボランティア活動は下記の通りです。

月 日	実 施 場 所	活 動 内 容	参加者数
9月1日 ～3月31日	特別養護老人ホーム さくらの郷	絵手紙の作成と展示 写真の展示	20名
10月13日	リバーサイド茶倉	香肌サイクリング大会案内係	6名
12月～2月	特別養護老人ホーム さくらの郷	清拭づくり（176枚）	7名
12月15日	松阪市内全域	第3回 みえ松阪マラソン	106名

6. 福祉・家事援助サービス事業の推進について

松阪市の重点事業である「子育て支援」の一環である“松阪市小学校長期休業子どもの居場所づくり事業”へ参画すべく、センターとしても令和6年度事業の重点項目として、昨年に引き続き、「松阪さんまくらぶ」、「ちびっこはうす」の運営に活動の焦点を合わせてきました。

「松阪さんまくらぶ」の活動においては、子育て世代のニーズに対応し、市内3拠点の施設で本格的な事業運営となりました（令和6年度、夏・冬・学年末で160人超の子どもたちを3拠点80人の会員で支援）。終業後のアンケート調査では、保護者さんから「よかった」と90%を超える満足度をいただいております。

令和7年度は286人の子どもさんたちを、市内3拠点（夏季は4拠点）で支援活動を行う予定で計画を進めております。

「ちびっこはうす」の事業実績も評価され、会員活躍の場が広がっております。シルバー人材センターにおける子育て事業は全国的な広がりを見せております。今後も先進センターの事業に学ぶと共に有識者の皆さまにも指導を仰ぎながら“シルバーらしさ”を兼ね備えた運営に努めてまいります。



7. 松阪市制施行20周年記念式典



平成17年1月1日、1市4町が合併し、本年度で20周年を迎えることになり、令和7年2月9日松阪市制施行20周年記念式典が開催されました。

この式典の中で、松阪市シルバー人材センターは、市制功労団体賞を受賞し、竹上松阪市長より表彰状をいただきました。

引き続き、いつも元気なシルバー世代活躍の場を提供できる事業に取り組みます。